

丹波地域環境パートナーシップ会議 情報誌 Vol.6

内容

丹波地域の希少種紹介…P2～3

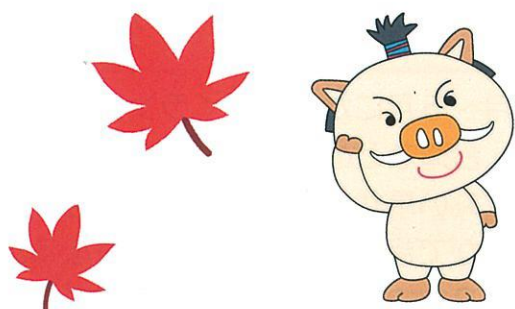


活動報告

南新町美しいまちづくりの会…P4
丹波自然友の会…P5
兵庫県森林動物研究センター…P6

お知らせ

祝！受賞おめでとうございます…P7



編集・発行

丹波地域環境パートナーシップ会議

事務局：兵庫県丹波県民局県民交流室環境課

〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688

TEL：0795-73-3877 FAX：0795-72-3013

☆皆様からの寄稿・ご意見・ご感想などお待ちしております！



丹波地域の希少種紹介



アツマイチゲ

(兵庫県版レッドデータブックBランク)

4月～5月にかけて咲くキンポウゲ科の多年草で、落葉樹林のふちや草原、山麓の土手などに生える。春の訪れを告げる春植物の一つ。

紡錘状の根茎が地を這い、繁殖して群生をつくることが多い。花弁に見えるのは全て萼片（がくへん）で8～13枚ある。萼片は白色で、萼片の基部は紫色である。

兵庫県版レッドリスト2010（植物・植物群落）の絶滅危惧Bランクとされている。



クマガイソウ

(兵庫県版レッドデータブックBランク)



4月～5月にかけて咲くラン科で、日本・中国・台湾などの林床や竹林に群生する。

葉は丸い扇状で縦じわが何本も走り、表面に凹凸ができ、付け根の部分で重なるように前後に2枚ついている。花は一部が袋状膨らんだ形をしており、色は袋状の部分が白地に紅紫色の脈が網目状に広がり、それ以外の花びらは淡い緑色である。

クマガイソウという名前は、「源平の合戦」で有名な熊谷直実にちなんで名付けられた。

環境省のレッドデータブック2014 絶滅危惧Ⅱ類（UV）、兵庫県版レッドリスト2010（同上）の絶滅危惧Bランクとされている。

ヒメボタル
(兵庫県版レッドデータブック要注目種)

日本列島にしか生息していない日本固有の種。森のホタルとも呼ばれていて、山頂や峠のような人が近づきにくい環境に生息する。

発光するホタルの中でも有名なゲンジボタルやヘイケボタルより一回り小さい体をしていて、背中が黒色、胸部背中側が赤く、中央に黒い半円形の模様がある。体長はオスが9mm、メスが7.5mm程度。

光り方の特徴として、ゲンジボタルやヘイケボタルよりも短い時間で発光する。一般的にホタルの発光を写真で撮ると、光の筋が写るが、ヒメボタルは発光時間が短いので光が点で写る。

兵庫県版レッドリスト 2012（昆虫類）の要注目種とされている。



活動報告

南新町美しいまちづくりの会

会長 清水 恵治

平成 19 年5月に地域住民が日々楽しく過ごせる町並みの環境を維持するため、会員相互が率先して地域内の美化及び整備を行うことを目的として、町内会有志により発足しました。

県道沿いにある「みなみ公園」の整備と、沿道に竹プランターを設置することにより、通行される方々に花を觀賞いただくことで毎日を気持ち良く過ごしていただきたいという思いと、日々の作業に携わる会員相互が、水やり等の活動により親睦を図っています。

また、地域内にある約 30,000m² に及ぶ竹林群を整備することにより、伝統的建造物群保存地区の美化向上と、竹林内に生息する絶滅危惧種の「オオムラサキ」の保護を目的に、地元小学校と連携して、毎年初夏の放蝶会と2月の越冬幼虫調査を行っています。



丹波自然友の会

～柏原八幡神社の樹木調査活動の報告～

代表 梅垣 守明

本会は昭和 43 年 3 月に発足し、昨年で発足 50 周年を迎えました。活動を続けてこられたのは、素晴らしい先人のリーダーシップはもとより、後に続いた先輩方の努力の賜物です。本会の歴史と伝統を大切に「自然を愛し 自然に学ぶ」を基本姿勢とし、丹波の自然環境や動植物の生態調査にかかる活動と記録を継続・充実させることを目的に、月 1 回の例会を積み重ねております。谷中分水界の「水分かれ」を中心とした『氷上回廊』と称するこの丹波の自然の豊かさ・不思議さ・素晴らしさを発見する取り組みです。

◇柏原八幡神社の樹木調査活動

丹波市内の各地の「樹木名札付け活動」も定期的に取り組んでいます。今年は、柏原町八幡神社の社叢で実施予定ですので、事前に調査研究の機会を持ち、会員の研修の場としました。

厄神さんで有名な柏原八幡神社の社叢は、典型的なツブラジイを中心とした照葉樹林です。参道（稲荷神社含む）を中心に樹木調査を行いました。



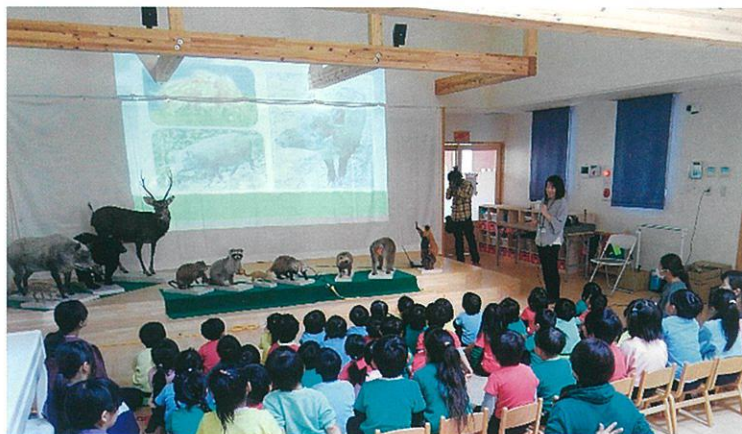
兵庫県森林動物研究センター

～出前授業活動報告～

森林動物研究センターは、人との軋轢の大きい野生動物、ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザルなどの生息状況の把握と被害防止対策の普及を行っている研究・普及機関です。兵庫県立大学の教員でもある研究員と行政の普及員である森林動物専門員が、被害現場などで活動を行っていますが、総務課では、2名の野生動物相談員が広く一般に向けた普及啓発のため、野生動物の剥製を使ったミニ企画展示や、幼児・小学生を対象にした出前授業を行っています。

出前講座では、「野生動物ってどんな暮らしをしているの?」「シカやイノシシは何を食べるの?」など野生動物の生態についてクイズを交えながら説明、普段あまり目にする事のない野生動物の剥製を間近で観察しながらの学習に加え、毛皮など実際に触ってより深く理解できるようハンズオンの授業を行っています。

野生動物が多く生息する丹波地域でも野生動物の暮らしぶりやなぜ農作物を荒らすのか、などについては知らない子供たちも多くなってきています。ぜひ、センターのミニ企画展や出前講座などを活用して下さい。



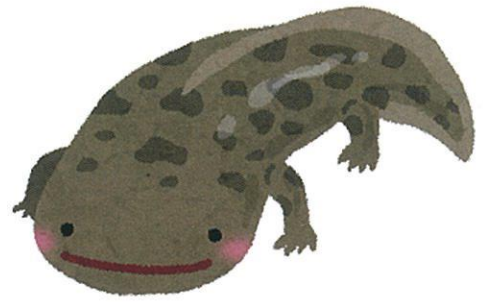


祝！受賞おめでとうございます

平成30年度及び令和元年度に、以下のとおり、環境保全の推進に尽力された方々が受賞されました。

年度	表彰内容	受賞者（団体）	活動内容
30	兵庫県功労者表彰 （環境功労）	山科 ゆみ子 氏	希少種であるホトケドジョウの保護のため、フィールド調査や生息地の再生や造成、ホトケドジョウの新たな生息地の探索、地域住民への啓発活動を実施するなど、ホトケドジョウの保護活動に尽力している。
	環境保全功労者 知事表彰	妙高山のクリンソウ を守る会	絶滅を危惧されている妙高山に自生するクリンソウを保護し、その自生地周辺の環境保全と現況の維持を目的として活動している。また、観察会を実施するなど啓発活動にも力を入れている。
元	兵庫県功労者表彰 （環境功労）	長井 克己 氏	平成18年7月に「丹波佐治川自然の会」を設立し、代表として佐治川の水質調査及び流域に自生するバイカモ等各種生物の調査、バイカモの移植・増殖活動や普及啓発活動を実施するなど、丹波地域の環境づくりの推進に貢献している。
	兵庫県環境に やさしい 事業者賞 （優秀賞）	兵庫パルプ工業(株)	未活用廃棄物のバイオマス燃料化による資源の有用活用等、リサイクル活動や省エネルギーの取組を推進している。





クリンソウ 兵庫県版レッドデータブックBランク
クリンソウ群生地(丹波篠山市多紀連山:植物群落Aランク)



バイカモ 兵庫県版レッドデータブックBランク
(丹波市青垣町内にて撮影)



次号予告



○丹波地域の希少動植物の紹介
○活動報告 など

発行時期：令和2年 秋頃（予定）